

雄勝小学校の協働教育「今ここ」



石巻市立雄勝小学校
教諭 本川 良

1

1 はじめに

学校教育目標

自ら考え、共に歩み、未来を拓く子どもの育成

(校舎一体型小中併設校の利点を生かした小・中9年間を見据えた目標)

○なぜ地域との協働をすすめるのか

願いや思いをもち、地域復興や日々の生活に前を向いて頑張っている人こそ子どもたちに希望を与えるし、子どもの自己形成のモデルとなる。さらに地域の人も子どもから逆に力をもらうことができる相互作用が生まれる。(子どもだからできる、子どもにしかできない「復興活動」)

人とつながり、希望を紡ぐ

2

2 取組を振り返ってお伝えしたいこと

- (1)よかったことと今後の課題
- (2)これまで大事にしてきたこと
- (3)地域連携担当として意識してきたこと
- (4)具体的な取組

3

2 取組を振り返ってお伝えしたいこと

(1)成果と今後の課題

- 子どもも大人も楽しく学習、活動できたこと 「やりたい」「やろう」
- つながりの広がりや深まりが増えたこと 「ありがとう」「うれしい」
- チームワークがよくなったこと (子ども、教師)
- 多様な方々や団体、機関との協働関係のベースができたこと 「組織と組織」から少しずつ「人と人」へ
- 働く大人のリアルな姿や言葉、専門職等の知見を教育活動に生かされたこと 「学ぶことと生きること、社会」のつながりの意識
- 学校単独ではなかなかできない活動ができたこと 「活動の可能性の拡大」

△震災後の環境の変化もあり、保護者・「地域」との協働場面がまだ十分つれていないこと

△安定的に協働を行うにはもう少し経験の蓄積が必要なこと

△指導目標・内容とのつながりを適切に付け、カリキュラムマネジメントを行うこと

4

2 取組を振り返ってお伝えしたいこと

(2)大事にしてきたこと

- 「ほんもの」と出会い、関わる活動
- 多様性、地域性、持続可能性
- 「主体性」と「社会参画」「自己実現」「人間関係の形成」
- 「自己の生き方を考える」 小中9年間を見据えた計画と実践
☆ベースに対話と振り返り、エピソードの共有

2 取組を振り返ってお伝えしたいこと

(3)地域連携担当として意識してきたこと

- 学校教育目標についての理解を深めるための職員同士の対話の場を繰り返すこと
- 協働者と教職員の対話の場を繰り返すこと
- 教育課程を俯瞰し、全体をデザインすること

(4)具体的な取組

- 学校単独ではなかなかできない活動ができたこと

- 子どものアイデアをより高いレベルで実現
- 社会参画への橋渡し



(4)具体的な取組

- 働く大人の姿、専門職等の知見を教育活動に生かしたこと

- 子どもの自己形成のモデル
- 教師も子どもと同じ学び手に



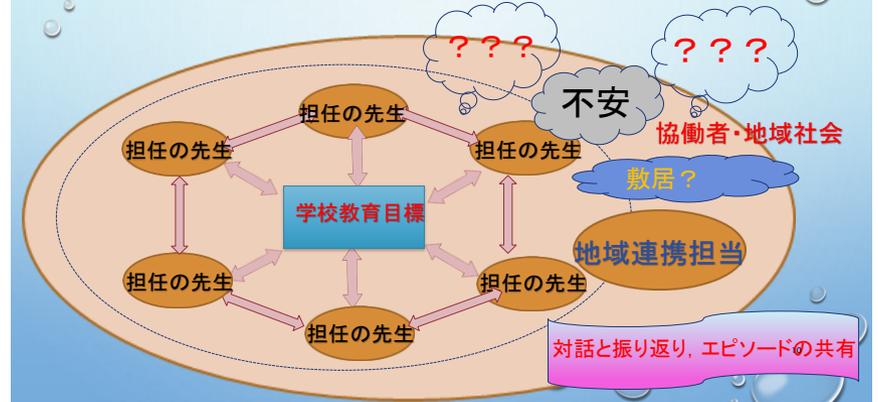
(4)具体的な取組

○対話と振り返り, エピソードの共有

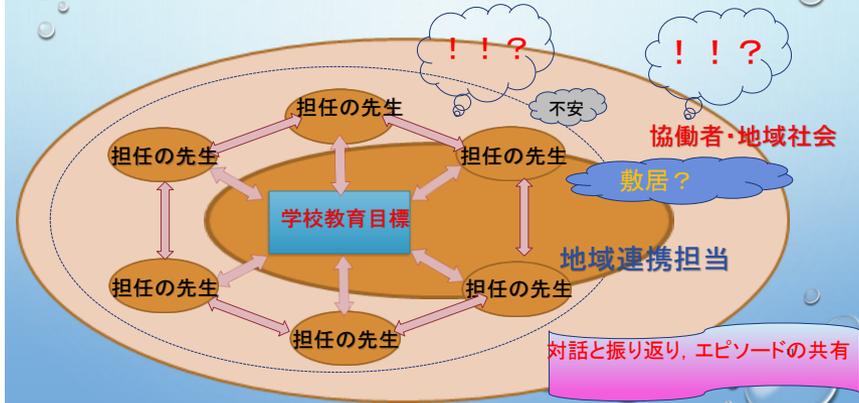
○ビジョン, 目的の共有
○それぞれの主体的な行動の促進



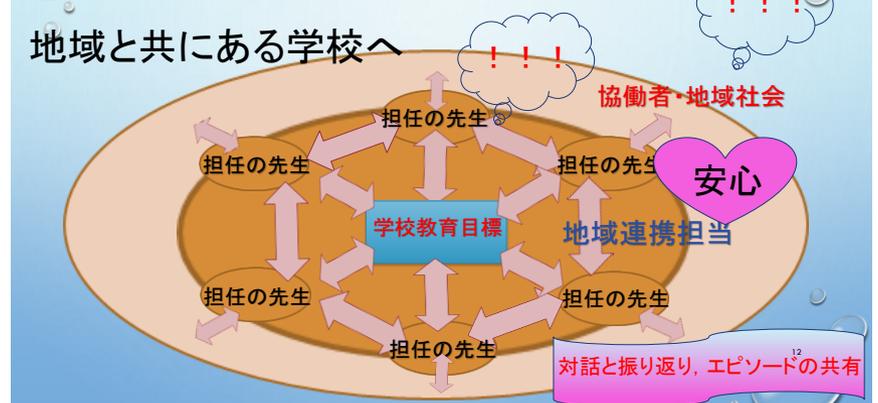
3 地域連携担当として意識してきたこと



3 地域連携担当として意識してきたこと



3 地域連携担当として意識してきたこと



「取組を振り返ってお伝えしたいこと」はこうでした

(1)成果と今後の課題

- 子どもも大人も楽しく学習、活動できたこと
- ありがとう、と言い合える機会や関係が増えたこと
- チームワークがよくなったこと（子ども、教師...）
- 多様な方々や団体、機関との協働関係のベースができたこと
- 働く大人のリアルな姿や言葉、専門職等の知見を教育活動に活かした
- 学校単独ではなかなかできない活動ができたこと など



△震災後の環境の変化もあり、保護者・「地域」との協働場面がまだ十分つれていないこと

△安定的に協働を行うにはもう少し経験の蓄積が必要なこと

△指導目標・内容とのつながりを適切に付け、カリキュラムマネジメントを行うこと



13



4 これからどうしたいか



- 私たちは、
- ①今年度つくれた関係性や活動をベースに、対話を重ねながらブラッシュアップしていきたい。
- ②「地域と共に歩み希望の光になる学校」を目指し、保護者や地域との活動が安定的・日常的に継続できるように今年度の活動をベースにしてさらに工夫改善したい。
- ③繰り返し関わることで、子どもたちや先生方一人一人と地域の方々の関係をさらに広げ深めていきたい。
- ④多様な方々と対話を重ねることで、地域コミュニティの核としての学校を目指していきたい。

14